

科目名 (科目番号)	家族看護論 (074721)	教員名 麻生保子 長堀智香子	学科等	看護	選択	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー			火2限	
授業概要	看護の対象としての「家族」とは何かを考え、健康を軸として考えた個人、家族、地域社会との関連について学ぶ。また、家族の一員が健康問題を抱えた際の家族へ与える影響と、看護専門職者としての援助方法について考える。 関係する垂直軸:看護						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	家族とは	到達目標:家族の概念、家族の形態と機能, その変化について理解できる 学習内容:家族について基本学習の後、ディスカッションを通して家族の機能について学習する				
	2	個人と家族、家族と社会	到達目標:個人、家族、地域社会が互いに健康に関連し合うことを身近な例を基に考えられる 学習内容:個人、家族、地域社会が関連する健康問題を取り上げディスカッションを行う				
	3	患者家族への家族ケア	到達目標:患者家族が抱える健康課題に気づくとともに、支援対象者としての家族への対応を検討できる 学習内容:家族を患者の支援者として位置付ける他、看護の対象としての家族を捉える必要性を学習する				
	4	家族アセスメント1	到達目標:ジェノグラム、エコマップの活用の意義と活用方法が理解できる。例を基に記載できる 学習内容:ジェノグラム、エコマップの作成演習				
	5	家族システム理論	到達目標:アセスメントおよび支援モデルの概要を理解し、事例に結びつけて考えることができる 学習内容:国内外の家族アセスメントモデルと支援モデルを学習する				
	6	家族支援のアプローチ	到達目標:家族の健康問題の内容に応じた援助方法について説明できる 学習内容:さまざまな家族支援方法について学習する				
	7	事例展開	到達目標:提示された家族の健康上の課題に気づき、援助方法を検討できる 学習内容:事例への展開方法を学ぶ				
	8	まとめ・修了試験	授業の振り返りとまとめ・修了試験				
成績評価の方法・基準	小テスト(20%)+期末試験(80%)						
教科書	《系統看護学講座 別巻》 家族看護学		上別府 圭子他			医学書院	
参考図書	家族看護学 理論と実践第4版		鈴木和子・渡辺裕子			日本看護協会出版会	
教員からのメッセージ	授業を通して、自分の家族や人との関係性について考える機会にしましょう。						